



ボラン。て

7月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

～出会い・つながり・発見！～

—CROSS TALK (クロストーク)—



杉並社協 創立70周年



2022年2月2日にオンラインで「特技さん（特技ボランティア）オンライン発表会」を開催しました。そのときに参加していただいた1つの施設、2人の特技さんに再度お集まりいただきました。発表会の感想、今回の対話を通じてのお互いの気づき、そして発表会を通じて感じたコロナ禍での新たなボランティア活動の形などについて話していただきました。

【特集】すだちの里すぎなみ 施設長 ^{こばやし さとし} 小林 哲さん(写真左)

特技さん(ボランティア) ^{まつもと せい} 松本 聖さん(写真中央)

特技さん(ボランティア) ^{おおむろ ひろかず} 大室 紘一さん(写真右)

3面・・・運営委員の紹介

裏面・・・夏のボランティア体験2022

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

【特集企画】 ～出会い・つながり・発見！～ —CROSS TALK(クロストーク)—

「すだちの里すぎなみ（以下「すだちの里」）」は、障害者の生活上の支援、相談を行うと共に、概ね3年間の利用期間を目安に、地域での生活へ移行することを目標にしている施設です。一人ひとりの生活スタイルを大切にしたい地域生活を支援しています。「特技さん」は、杉並ボランティアセンターに登録をしているボランティアの方で、人より秀でた特技があり、披露していただける方、または人に特技を教えることのできる方です。

今回は、すだちの里の施設長・小林哲さんと特技さんの大室紘一さん、松本聖さんとのクロストークです。

特技さん（特技ボランティア）オンライン発表会とは

2022年2月2日に杉並ボランティアセンターの発信で行われたイベント。5名の特技さんがオンラインで特技を披露し、そのリアルタイム映像を12施設・総勢100名を超える方に観ていただきました。今回はこのイベントに参加した特技さん2名と1施設の施設長にお話を伺いました。

松本：特技を披露するときには一方通行ではないものをするようにしています。今回のオンラインでも見ている方が受け身ではなく楽しんでもらえるような、歌やクイズなど一緒にできるようなものを考えて発表会に臨みました。オンラインで向こうの反応が見えなくてわからなかったのですが、見えていたら

「間」を取る時間も調整出来てよかったかもしれません。

小林：オンライン発表会はテーマ選びが良かったと思いました。施設内でも職員がオンラインでのクイズイベントを企画するなどして、皆さんが参加できて楽しむことができました。会場でマジックを見ている側も見るだけでなく、マジックと一緒に楽しめると臨場感もでるのでは、と感じました。

大室：自分はマジックを見ている方の驚いたり笑ったりしてくれる声が嬉しくてボランティアを30年続けています。オンラインだとその反応してくれる声が聞こえないので、見ている方が考えなくてよいような、目で見てわかりやすい内容の出し物をしています。オンライン現場に盛り上げてくださるスタッフがいてくれたのが有難かったです。



▲発表会での松本さん
(特技：よし笛・手遊び)



▲発表会での大室さん
(特技：マジック)

情報紙「ボラン・て」では今年度の企画として、地域活動団体や人同士のクロストークをお届けします。①話している団体・人同士が新しい発見や気づきがある②読者の方々が地域活動をするためのヒントとしていただく、そのような企画になることを願っています。

小林：施設側でも職員が利用者に対してオンラインでやっているマジックをその場で真似したり、一緒にクイズを考える声かけをしたり、みんなで歌ったりしました。施設で出し物をもう一つ楽しんでいける感じがいいかもしれません。

大室：画面で見ているだけではなく、やっぱり参加することで距離が縮んで盛り上がります。コロナ前も後も、施設側も出し物をする人を求めている感じがありますが、コロナ禍もあって現在はなかなか呼びかけられない状況です。

小林：コロナ禍でなかなかお招きできない状況は確かです。地域との関わりが大切とは考えていますが、現場での業務も忙しく、外部とやり取りをする調整役を担う職員も少なくなっています。

大室：初めての場合はどんな人がくるかわからなくて施設側も不安でしょうから、オンラインが初めて施設に行くきっかけになればいいです。

松本：打ち合わせでオンラインを使ったとき、オンラインは、会議システム（発信者のみの音声）なので連帯感を感じられません。でも、全員が音声ミュート（消音機能）を外して「いいね」「すごい！」など相槌を打つようにすると連帯感が出るのです。オンラインは進行役が大変なのですが、それでも工夫をしながら回数を重ねていくことで、より良いものが作られていくのだと思います。



▲すだちの里すぎなみ外観



▲特技さん発表会終了後の記念写真

大室：コロナだからと言って何もしないのではなく、一歩踏み出す勇氣も必要です。だからオンライン発表会に参加して良かったです。まず行動することが大事、コロナ禍の中でもどうやったらできるのかを考えていかないと、みんなあれだけ特技があるので。工夫して行動して毎回行ったり来たりしながら、少しでも前回より良くなっていければいいと思います。

松本：コロナ禍だからよし笛で癒しをお届けしたいです。最後に演奏に合わせて皆さんに歌っていただき一体感を出したかったのですが、オンラインに参加しておられる皆さんの年齢差があるので、選曲が難しいと思いました。でも今回の取り組みで課題がはっきりしてきたのもっと工夫ができると思います。

小林：施設側も、今後も地域の方のオンラインだからこそ特技さんを気軽に見ることができるといいなと思っています。

特技さん発表会
ダイジェスト動画



杉並ボランティアセンターでは運営委員会を設置しており、区内のボランティアグループやNPO法人、当事者団体、大学関係者等、さまざまな団体から委員が構成されています。

この運営委員会の協議を経て、事業の推進を図っています。事業は、コーディネート、活動促進・研修、情報ネットワーク、活動サポートを柱に行います。また事業に応じ、地域の方に協力委員として関わっていただきます。（事務局は職員5名で構成されています。）

【運営委員】（敬称略）

石山 恵子（NPO法人プロップK）
 出田 直子（なごみ傾聴の会）
 稲葉 文子（子育てきずなサロン ぐーちょきぱあ）
 岩田 真理子（NPO法人けやき精神保健福祉会 けやき亭）
 大河原 香織（明治大学和泉ボランティアセンター）
 鹿住 貴之（認定NPO法人J U O N（樹恩）NETWORK）
 神谷 亮介（東京青年会議所 杉並区委員会）
 芦澤 公一（株式会社ジェイコム東京 杉並・中野局）
 多田 邦晃（杉並災害ボランティアの会）
 東條 正枝（杉並区 区民生活部地域課協働推進係）
 阪野 俊治（個人ボランティア）
 前嶋 元（東京立正短期大学）
 三好 明子（（福）視覚障害者支援総合センター）
 村 一浩（NPO法人みかんぐみ）
 渡辺 宏（高円寺『ハート・トゥ・アート』）

【協力委員】（敬称略）

北原 理良子（NPO法人杉並介護者応援団）



◆運営委員会は下記の3つの部会に分かれて活動を行っています。

企画部会

ボランティアセンター事業の企画・検討を行う。

調査部会

ボランティアに関する調査・研究を行う。

広報部会

ボランティア情報紙『ボラン・て』の編集および広報に関するを行う。

予告

特技さんラインナップ2022（第20版） まもなく発行です

「特技さん」という事業は、ボランティアで特技を披露される方と地域の方が会うきっかけを作るものです。特技を披露される方はボランティアセンターに登録をしています。そのラインナップを1冊にまとめた「特技さんラインナップ2022（第20版）」をまもなく発行します。昨年度もお送りした施設等にはこちらから郵送いたします。ご希望の方は杉並ボランティアセンターまでご連絡ください。



／ Hello! ／
登録団体さ～ん

Vol.04

★杉並ボランティアセンターの登録団体を紹介するコーナー。団体登録受付中！

お気軽にお電話下さい

◆火曜電話相談室

- ・活動内容：相談者の気持ちを大切に、共に考え、心理的支援を行っています（秘密は厳守します）。また相談員・カウンセラーとしての相互研鑽に努めています。
- ・活動場所：杉並区内
- ・活動日時：毎週火曜日11:00～16:00（当面の間）03-6750-8033



お問合せ

杉並ボランティアセンター

〒167-0032 天沼3-19-16

ウェルファーム杉並4階

TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

H P: <http://borasen.jp/>

ぼらせん.jp

検索



参加者募集！！

夏のボランティア体験2022

No	分野	プログラム名	参加対象者	実施日
1	高齢者	お手紙ボランティア 「区内福祉施設の皆さんに残暑見舞いを書こう」	全世代	8/6(土)まで 随時受付
2	高齢者	施設へ贈る飾りを作ろう 「高齢者施設に飾る折り紙を募集します」	全世代	8/20(土)まで 随時受付
3	防災	防災まち歩き ～歩いてみよう！調べてみよう！～ 「災害視点で皆さんと一緒に天沼地区を歩きます」	中学生以上	8/6(土)
4	障害	手話で聴覚障害者の方と交流しよう！ 「手話の体験です」	①小学生(親子) ②中学生以上	①7/26(火) ②7/29(金)
5	障害	点字で視覚障害者の方と交流しよう！ 「点字を学び一緒に打つ体験と施設見学」	①小学生(親子も可) ②中学生以上	①8/3(水) ②8/5(金)
6	障害	車いす・白杖体験をしてみよう！ 「障害者の方にどのようなサポートが必要か学びます。当事者の方の講話もあります」	小学生以上	8/20(土)
7	国際交流	Zoomでエンジョイ★国際交流 「日本語を学んでいる外国籍の方と話してみませんか」	中学生以上	8/21(日) 8/28(日)
8	施設 (国際交流)	オイスカ 「ベルマークの仕分けや事務作業のお手伝いです」	中学生以上	7月末から 8月末
9	施設 (障害)	けやき亭 「通所者の方と一緒に食堂や喫茶店のお手伝い」	中学生以上	7月末から 8月末
10	その他	作ってみよう！～切手アート～ 「下絵に使用済切手を貼って絵画にしてみよう」	小学生以上	7/28(木) 8/26(金)

申込み
詳細

7月1日(金)からプログラム集を公開中&申込受付中！！

詳細はボランティアセンターのホームページ「borasen.jp」をご確認ください。

募集

7月22日～(8/5除く)
毎週金曜午前中

夏のちょこっとボランティア

切手整理・お手紙・
折り紙等です

暑い夏休み期間に、ボランティアセンター交流スペースで短時間のボランティア作業をしませんか？参加希望の方は予めご連絡ください（先着5名まで）。
日程・内容等詳細はボランティアセンターまで。ご参加お待ちしております。



▲交流スペース



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063
メール: info@borasen.jp ホームページ: <http://borasen.jp>



うえるくん
杉並協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日
8:30～17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド（区内 JR、地下鉄丸の内線など）・他